

教育長からのメッセージ

利島村教育委員会教育長 三室 哲哉

「教師が育つ利島（としま）」として、先生方一人ひとりの確かな成長を！

利島村（としまむら）は人口約 300 人、一島一村一集落の小離島です。昨年度から、東京都島しょ地域で初めて義務教育学校に移行した利島小中学校では、1 年生から 9 年生まで合計 25 人（令和 7 年 5 月時点）の児童生徒が一つの校舎で学んでいます。

島内に高校がないため、義務教育修了（「15 の春」という）に向けた自立が教育目標です。利島小中学校の魅力は、① 1 学年最大 6 人の「極少人数学級」、② 豊かな自然・歴史などの「島全体が教材」、③ 学校と地域の密な関係という「今は絶滅危惧種の古き良き」環境など、多岐にわたります。子どもたち自身が学校生活を通して「自分の力で学校や利島、社会をより良くできる」と感じ、これからの時代に必要な力を育むことができる教育環境だと自負しています。

私はこうした「利島ならではの」環境は、教師の成長という観点から見ると、日本一だと思っています。島民参加型でつくった利島の新教育大綱に「利島の担い手の一員である教師自身が学び続けて成長できる、教師が育つ利島の実現」とある通り、先生方が教員生活を通して「利島に来たことが分岐点だった」と思える環境を用意しています。紹介しきれませんが、端末整備の充実化、資質能力向上のための書籍購入補助、最先端の有識者による講演・ワークショップなど多岐にわたります。

また、利島で暮らし、地域の一員として活躍する中で、ご自身の新たな一面を発見できると思います。

ごく稀に「島の教育は遅れている」と言う人がいますが全くの誤りです。仮にそうした側面が数%残っているとすれば、一緒にその状況を打開できる先生方に利島にお越しいただきたいです。一緒に最先端の学校づくりと一体感ある島づくりを行っていきましょう。

百聞は一見に如かず。利島で教師をする魅力を知っていただくため、まずは以下の「利島のまなび」動画をご覧ください。

（「利島のまなび」本編約 10 分）



（「利島のまなび」短編約 3 分）

